

# けやき

令和元年度  
学校評価(最終報告号)

NO. 513

練馬区立南が丘小学校

校長 高橋 忠太郎

地域、保護者の皆様には、ますますご健勝のことと存じます。常日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、本年度の教育活動につきましてアンケートご協力をお願いいたしましたところ、多くの声をいただくことができました。ありがとうございました。集計がまとまりましたのでお知らせいたします。この結果を、次年度の教育計画に生かしてまいります。

これからも、様々な面で、地域、保護者の皆様のお力添えが必要となりますので、ご協力の程をよろしくお願いいたします。

結果のグラフは、左より **思う** **まあまあ思う** **あまり思わない** **思わない** **分からない** です。

## 1 下学年児童(168名)アンケート結果

下学年 (令和元年度)	
1 学校に行くのが楽しい。	66% 24% 2% 4% 4%
2 学校では友達となかよくしている。	73% 22% 1% 1% 1%
3 先生や友達、地域の人にきちんと挨拶ができる。	65% 29% 2% 1% 1%
4 先生や友達の話をしっかり聞ける。	64% 28% 4% 1% 1%
5 勉強が分かりやすい	71% 21% 1% 4% 2%
6 先生に何でも話したり相談したりできる。	54% 34% 4% 3% 5%
7 学校で本を読んでもらったり読んだりするのが楽しい。	80% 12% 1% 4% 3%
8 実物投影機などを使った授業は分かりやすい。	82% 10% 1% 2% 5%
9 学校行事は楽しい。	83% 11% 1% 3% 4%
10 休み時間に校庭でたくさん遊んでいる。	63% 22% 5% 7% 4%
11 けやき班の活動や遊びなどは楽しい。	78% 18% 1% 1% 1%
12 学校のそうじをしっかりときれいに気持ちよくしている。	71% 22% 2% 1% 4%
13 少人数の授業や二人の先生で教えてくれる授業は、よく分かる。	73% 18% 3% 0% 7%

13項目中11項目で「思う」「まあまあ思う」を合わせた肯定的な回答が90%以上ですので、良好な結果と捉えています。

その中でも、「そのように思う」の5ポイント以上上がった項目が2つあります。1つは「先生に何でも話したり相談したりできる」です。教員に何でも相談できる環境が整っていることは、子供たちの生活にとってとても大切なことです。これからも子供が相談しやすい関係をさらに築き児童理解を深められるよう、教職員全員で努力していきたいと思えます。2つ目は「実物投影機などを使った授業はわかりやすい」でした。これは、年度途中に電子黒板が配備されたことによるものと考えています。学校ではその効果的な使い方について研修し使用方法を工夫してきました。今後、さらに有効活用ができるようにしていきます。

逆に「思う」「まあまあ思う」を合わせた肯定的な回答は前期とあまり変わらなかったものの、「そう思う」が5ポイント以上下がった項目が4項目あります。「休み時間に校庭でたくさん遊んでいる」については外遊びができていない現状があります。外遊びのルールの徹底や楽しく遊べる工夫をし、子供たちがすすんで遊べる環境を作りたいと思えます。また、あとの3項目「学校に行くのが楽しい」「勉強が分かりやすい」

「少人数の授業や二人の先生で教えてくれる授業はよくわかる」はリンクしていることが考えられます。子供たちが学校で過ごす時間の大半は授業です。学習が分かることはとても大切なことですし、それによって学校が楽しいところになるかどうかは左右されます。私たち教職員は「分かる授業」を目指し授業改善を推進していきたいと思えます。

学校経営の重点の一つである「学校での本の読み聞かせや朝読書は楽しい」については、前期同様に高い数値を示しています。図書室の本の貸出冊数は年々増えています。これからも子供たちが、本に親しんでいくことができるよう、図書ボランティアの方々や南田中図書館など関係諸機関と連携していきたいと思えます。

## 2 上学年児童(179名)アンケート結果

上 学 年 ( 令 和 元 年 度 )	
1 学校に行くのが楽しい。	55% 38% 10% 17%
2 学校では友達となかよくしている。	72% 21% 4% 4%
3 時と場に合ったあいさつが、自分からきちんとできる。	57% 40% 11%
4 先生や友達の話をしっかり聞ける。	44% 50% 3% 4%
5 学校の授業は分かりやすく楽しい。	55% 38% 10% 17%
6 先生とたくさん話ができています。	41% 46% 5% 3% 5%
7 学校ですすんで読書をしている。	29% 46% 13% 4% 7%
8 実物投影機などを使った授業は分かりやすい。	69% 26% 10%
9 学校行事は楽しい。	75% 20% 1% 1%
10 休み時間に校庭で十分遊んでいる。	47% 34% 7% 11% 2%
11 けやき班の活動や遊びなどは楽しい。	66% 29% 1% 3%
12 学校のそうじや後かたづけをしっかりし、きれいに気持ちよくしている。	50% 45% 1% 3%
13 少人数の授業や二人の先生で教えてくれる授業は、よく分かる。	60% 31% 1% 4% 6%

10項目で「そのように思う」「まあまあ思う」の肯定的な回答が90%以上となっており概ね良好な状況であると思えます。

「学校では友達と仲良くしている」「実物投影機などを使った授業はわかりやすい」の項目では「そのように思う」が前期よりも6ポイントも増えました。新しい学級になって半年がたち、友達との適切な関係が築けてきた子供たちが多くなってきたからだと考えます。実物投影機については低学年と同様です。

しかし、前期に比べ「そのように思う」の回答率が5ポイント以上下がった項目は4項目ありました。「先生や友達の話をしっかり聞ける」については、2学期は行事が多く、休み時間を使って活動している児童が多かったことが関係あると捉えます。本来なら少しゆったりとリラックスできるはずの休み時間を過ごせず、授業と休み時間のメリハリがなくなっていたことが想像できます。授業と休み時間の切り替えを徹底し、授業中は学習に集中できる環境を作るように努めていきたいと考えます。そのためには、学校行事や学習活動が決められた時間の中でできるように、私たち教職員はしっかりと学習や行事の計画を立てていかなければならないと思えます。また、「学校での本の読み聞かせや朝読書は楽しい」は11ポイントと大きく下がりました。おそらく読書旬間と学芸会の練習時間が重なり、朝学習や休み時間等にゆっくりと読書できる時間が確保できなかったことが大きな要因と考えられます。短い時間でも読書する時間を作るよう、学級としても、学校としても工夫していきたいと思えます。「学校の行事は楽しい」の項目についても「そのように思う」の回答が9ポイント下がりました。これについては、2学期は短い期間に大きな行事が続いていたことがこのような状況につながったのではないかと思います。なわとび発表会に向けて練習し本番を迎え、あまり休む期間がないまま学芸会の練習に突入した経過があるからです。このような反省を生かし、子供たちに必要以上に負荷がかからないような行事の計画を立てていきたいと考えます。

### 3 保護者(269名回答)アンケート結果

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
学年人数(人) (アンケート時)	55	60	54	61	72	52
回収人数(人)	46	48	41	51	47	36

## 保護者（令和元年度）

子どもは、明るく楽しく学校に通っている。	76%	21%	30%
子どもは、友達となかよくしている。	64%	34%	30%
子どもは、きちんと挨拶ができる。	39%	40%	20%
子どもは、学校で先生の話をしっかり聞いている。	34%	52%	11%
子どもは、学習が分かり、楽しく学んでいる。	41%	50%	7%
子どもは、自ら考えたり、考えたことや感じたことを表現したりしようとする。	34%	55%	10%
子どもは、すすんで読書をしている。	27%	31%	15%
子どもは、学校行事を楽しみにしている。	77%	20%	3%
子どものことで困ったときに、教職員に相談できる。	52%	39%	4%
学校は保護者からの連絡等に対して適切に対応している。	64%	31%	3%
学校は、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている。	56%	39%	3%
保護者や地域に対して、学校は参観する機会を十分に設けている。	78%	20%	1%
学校は子どもの安全・安心に十分配慮している。	52%	40%	6%
学校の施設や設備は、学習環境面で充実している。	28%	54%	14%
習熟度別指導の授業は、学習意欲や学力の向上につながっている。	48%	40%	6%

15項目中6項目において「そのように思う」「まあまあ思う」を合わせた肯定的な回答が95%を超える高評価をいただきました。さらに、前期に比べて、肯定的な回答が上がった項目が11項目もありました。

中でも、「学校は、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている」「子どものことで困ったときに、教職員に相談できる」のポイントが上がったのは目立ちます。これらについては、担任が保護者の皆様やご家庭に働きかけ対応したり、学校から積極的に情報を発信したりした成果だと考えます。これからも教職員は保護者にとっても児童にとっても相談しやすい存在でいられるよう真摯な姿勢を忘れずに保護者、児童に接していきたいと思えます。ご相談やご心配がある場合には、お気軽に担任、学年主任、管理職までご連絡ください。そして、学校は情報発信を心掛けたいと思えます。また、もう一項目「少人数の授業は、学習意欲や学力の向上につながっている」が前回よりも上がりました。子供たちに楽しく分かりやすい授業を提供できるように、校内研究会で学校全体として算数科の指導を続けてきたこと、必要に応じた個別指導を行ってきたこと、ICT機器の活用などがこの結果につながったのだと思えます。これからも、教員は授業力向上を目指し研鑽を重ねてまいります。

前期よりは1ポイントほどは上がったものの、保護者の回答の割合が低いのはやはり「あいさつ」です。小中一貫教育の取組みの一つとして、学期に一度は中学生とともに挨拶をしています。その場では、委員会の子供たちは大きな声で気持ちの良い挨拶をしています。しかし、子供たち一人一人の元気な挨拶にはつながっていないようです。引き続き、あいさつに関する講話やあいさつ運動、週の目標に設定すること、日々の学級指導を通して、日常的なあいさつの習慣の定着を図っていきます。そのために学校ではもちろんのこと、各ご家庭でも共に指導を継続していただきたいと思います。そして、ご来校の際には、子供たちにも是非あいさつをしていただきたいと思います。挨拶の飛び交う学校にしていきたいと思っております。

#### 4 地域（14名回答）アンケート結果

地域（令和元年度）				
子どもは、明るく楽しそうに学校に通っている。	64%	36%	0%	
子どもは、友達となかよくしているように思われる。	57%	43%	0%	
子どもは、地域でも挨拶をしている。	36%	14%	36%	14%
子どもは落ち着いて学校生活を送っているように思われる。	50%	50%	0%	
教職員は、誠実に子ども・保護者・地域の方に接している。	46%	38%	8%	8%
南が丘小学校の教育活動に共感できる。	71%	21%	0%	7%
学校と地域は協力的な関係が築けている。	69%	23%	8%	0%
学校だよりなどのお知らせを読むと学校のことがよく分かる。	86%	14%	0%	
学校は、子どもの安心・安全に十分配慮している。	43%	50%	7%	0%
学校の施設や設備は、学習環境面で充実している。	21%	43%	14%	0%
			21%	

#### 【自由記述より】

・アンケートをいただいても、子供が少なくなりごく一部しか見ていないと思います。お返事できず、封筒がたまってしまいました。お返しいたします。「けやき」は見たいと思います。よろしく願いいたします。毎年、菊の鉢をいただき、ありがとうございます。去年の菊が今年も咲き、黄色の小さな花がたくさん咲きました。

・子供たちの登下校や公園での遊びの様子、町の中での移動中の様子でしか判断できないため、5. 6. 10. に関しては？挨拶については、できるだけこちらから声をかける努力をしていますが、子供の方からの挨拶はほとんどなしといった様子です。

・いつも掃除が行き届いていて、きれいに校舎が使われていると感じる。学校が児童と地域の中心となり、地域に大切にされているのだと思う。大きな公園がないため、校庭開放となかよし公園に子供たちが集まり、放課後も親密に過ごす様子はこれからも続いてほしい。

「子どもは、明るく楽しそうに学校に通っている」「子どもは友達となかよくしているように思われる」「子どもは落ち着いて学校生活を送っているように思われる」「学校だよりなどもお知らせを読むと学校のことがよくわかる」の項目は「そのように思う」「まあまあ思う」の肯定的な回答が100%でした。

一方、地域の皆様が課題と感じているところは「挨拶」でした。前期に比べ、肯定的な回答が24ポイントも下がり、反対に「あまり思わない」「思わない」が14ポイントも上がりました。子供たちが挨拶をできるようになるために、学校として取り組みたいと考えています。

#### 【学校関係者評価委員会】

2月6日（木）に行われた学校関係者評価委員会（第3回学校評議員会）において、出席の各委員から以下のようなご意見をいただきました。

・2学期に行われた学校評議員会の授業参観で、先生方が授業を工夫していることが分かった。自分たちが子供のころとはだいぶ違う授業が行われていると感じた。どの学級においても、子供たちが落ち着いて学習していた。

・学校から、読書を重点目標のしていることや図書室の貸し出し冊数が年々増えていること、知れども読書量が少ないことなどの話があった。自分の孫を見ていても読書の大切さを感じる。子供たちのは、ぜひ本を読んでもほしい。

・あいさつについては、学校だけでなく家庭でしっかり教えることが大事である。また、学校に来た際には、子供たちだけでなく先生たちからの元気な挨拶を期待している。